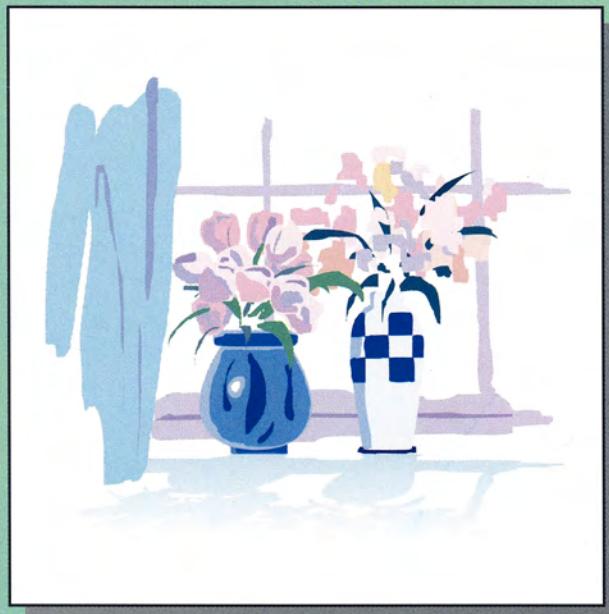


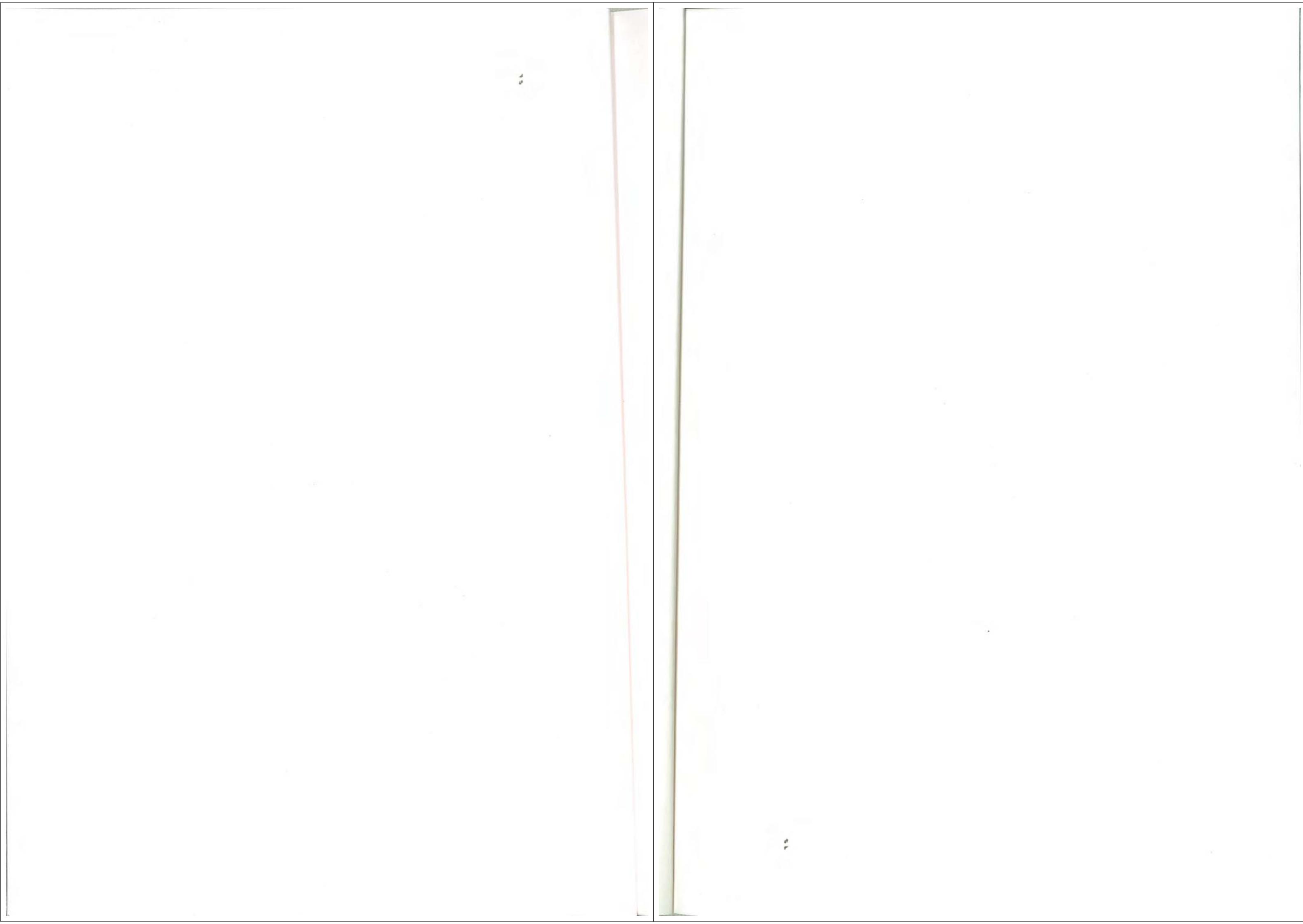


# 創立三十周年 記念誌



2000平成12年

横浜緑ロータリークラブ





# 創立三十周年 記念誌



2000平成12年

横浜緑ロータリークラブ

# 創立三十周年記念誌目次

発刊のことば	5	
ロータリーの綱領・四つのテスト	6	
バナー・認証状	7	
ロータリーソング	8	
ロータリーが今日に至るまで	9	
横浜緑ロータリークラブ20周年記念式典	16	
横浜緑ロータリークラブ30周年記念式典	21	
式典プログラム	23	
来賓ご芳名	24	
開会のあいさつ　創立30周年記念実行委員長	山下 栄蔵	25
祝　辞　第2590地区ガバナー	百木 春夫	27
祝　辞　横浜市長	高秀 秀信	30
祝　辞　横浜市緑区長	町田 福治	31
祝　辞　横浜港北ロータリークラブ	室岡 卓	32
創立時を省みて　第2590地区(PG)チャーターメンバー	鶴川 昇	33
祝　電		35

文部政務次官 衆議院議員 小此木 八郎  
横浜都筑区ライオンズクラブ  
川崎西RC会長 片岡 登美夫  
バストガバナー 内野 栄一郎  
バストガバナー 上野 良一  
バストガバナー 大須賀 洋  
バストガバナー 青山 彰義  
バストガバナー 石澤 芳郎

## 発刊のことば

横浜緑ロータリークラブ会長

森 宏



創立30年記念事業概要	36
目録贈呈 感謝状贈呈	
創立30周年記念式典風景	37
横浜緑ロータリークラブこの10年	42
10年間に見る週報の動き	47
20年以降10年間の歴代会長と会長方針	59
20年以降10年間の年度別組織表	60
年度別会員入退会状況	62
ロータリー財団	64
米山奨学会	65
会員紹介	66
物故会員	71
編集後記	73



横浜緑RCは、市の行政区再編成に伴い誕生した緑区に、1970年2月28日、港北RCを親クラブとして産声をあげました。此の程、桜花爛漫の4月1日に関係者をはじめ来賓など250人の参加を得て創立30周年記念式典を、厳肅盛会に開催いたしました。

最初は24人で発足したそうだが、時代の変革にともない増減を繰り返しながら、歴代の会長、幹事及び先輩会員が、地域社会に対して様々な奉仕活動を展開し、“ロータリーの心を”追い求めて30年の節目を迎えることができました。

点鐘にて始まった式典は、物故者への黙祷・開会の宣言・来賓の紹介・実行委員長の挨拶に続き、創立時の苦労話や愉快な事柄も織り交ぜて、チャーターメンバーより懐かしい思い出話が披露されました。

記念事業としてロータリー財団・米山奨学金基金に浄財を寄付、十日市場駅前広場にクロガネモチの記念樹の目録・クラブの発展に尽力された二人の会員に感謝状を贈呈し、引き続いて清水横浜市助役・緑、青葉、都筑の三区を代表して町田緑区長・百木ガバナー・スポンサークラブ港北RC室岡会長の祝辞・祝電披露・閉会の辞・点鐘で式典を締めくくりました。

私たちの次の目標は40周年ですが地域に密着し、協調と融和をもって奉仕の精神で巾広く社会に貢献できるクラブ、を目標に良質の会員増強に努めてまいる所存です。

この度の式典には、日頃会員の活動の支えとなってご協力頂いております沢山のご婦人の方々にも出席を賜り30周年の行事に花を添えて下さって有り難うございました。

最後に式典の準備委員長として活躍しながら、目前に逝去された三澤会員に、和やかな雰囲気の中で盛会、かつ成功裡に開催できたことを報告し、発刊の言葉に変えさせて頂きます。

## ロータリーの綱領

ロータリーの綱領は、有益な事業の基礎として、奉仕の理想を鼓吹、これを育成し、特に次の各項を鼓吹、育成するにある。

- 第1 奉仕の機会として知り合いを拡めること。
- 第2 実業及び専門職業の道徳的水準を高めること、あらゆる有用な職業は尊重されるべきであるという認識を探めること、そしてロータリアン各自が、職業を通じて社会に奉仕するために、その職業を品位あらしめること。
- 第3 ロータリアンすべてが、その個人生活、職業生活及び社会生活に常に奉仕の理想を適用すること。
- 第4 奉仕の理想に結ばれた実業人と専門職業人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進すること。

### 四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに 公平か
3. 好意と友情を 深めるか
4. みんなのために なるかどうか

## バナー



## 認証状



## ロータリーソング

### 奉仕の理想

作詞 前田和一郎  
元京都RC  
作曲 萩原英一  
元東京RC

奉仕の理想に集いし友よ

御国に捧げん我等の生業

望むは世界の久遠の平和

めぐる歯車いや輝きて

永久に栄えよ

我等のロータリー

### 手に手つないで

作詞・作曲 矢野一郎  
東京RC

1 手に手つないで つくる友の輪

輪に輪つないで つくる友垣

手に手 輪に輪

ひろがれ まわれ 一つ心に

おゝロータリアン おゝロータリアン

2 手に手つないで つくる友の輪

輪に輪つないで つくる友垣

手に手 輪に輪

ひろがれ まわれ 世界と共に

おゝロータリアン おゝロータリアン

### 我等の生業

作詞 高野辰之  
作曲 岡野貞一

1 我等の生業さまざまなれど

集いて図る心は一つ

求むるところは平和親睦

力むるところは向上奉仕

おゝロータリアン

我等の集い

2 奉仕に集える我等は望む

正しき道に果をとるを

人の世舉りて光を浴みつ

力を協せて争忌むを

おゝロータリアン

我等の集い

## ロータリーが 今日に至るまで

### ロータリーの誕生

『1900年12月31日のニューヨークの夜は冷たい湿った天候であった。角笛を吹き花火を上げて、この20世紀の最初の新年を迎えるとしている幾万ともしれぬ人々、その中の一人として、今では信じ難いかもしれぬが、映画のトーキーを聞いたものは無かった。ましてラジオのプログラムに耳を傾けた者、テレビのショーに眼をかがやしたもの、飛行機で旅した者、ボーイスカウトのバレードに加わった者、原子力解放について読んだ者、国際連合について聞いた者などむろん一人もない。』これは“ROTARY FIFTY YEARS OF SERVICE”と題して国際ロータリーが1955年に発行したロータリー50周年記念誌の書き出しである。

鐘が鳴った。そして19世紀が終わり20世紀が始まった。その2年後、ノースカロライナの海岸でライト兄弟Wilbur and Orville Wrightが、はじめて飛行機で852フィートを飛び、スイスのチューリッヒでは、1905年アインシュタインAlbert Einsteinが相対性原理を発表したが、それが一つは地球を小さいものと/orしてしまった航空機発達の第一歩であり、また一つは、人類の第3の火といわれる原子力解放の端緒であるとは、何人も気付いてはいなかつた。

それらとほぼ時を同じくしてロータリーは生まれた。

ロータリーの発生はディアボーン街Dearborn Streetの奇跡ともいわれているが、決して劇的なはじまりではなかつた。

1905年2月23日といえば、東洋では日露戦争が戦われ、日本では、明治もすでに38年、そして、その日から15日後には奉天会戦、3ヶ月後には、日本海海戦で日本の勝利が決定的になった日であるが、その23日の夜、アメリカ合衆国シカゴのディアボーン街のユニティ・ビルUnity Buildingにあった鉱山技師のガスター・ローラーGustavus Loehrの事務所に、仕立屋のハイラム・ショーレーHiram Shoreyと弁護士のポール・ハリスPaul Percey Harrisおよび、石炭商のシルベスター・シールSilvester Schieleの主客4人が落ち合つた。

そこでハリスは、かねて繰り返していたその主張『実業人も必ず心からの友人になれる』をまた熱心に説き、『まず職業の違う者が定期に集まつたら』と言つた。



一つの職業から一人なら競争もないというので、みなようやく賛成した。

ショーレーは、ひそかに新しい友人ができたら、さっそく新しい服をつくらせようと胸算用したし、シールは、われわれは他人の福利ということを考えねばならぬと言った。

このようにしてポール・ハリスの孤独に堪えられぬ心情から生まれた構想と、その粘り強い意志、そしてそれに応じた3人の同意がここにロータリーを生んだのであった。

翌日ハリスは印刷屋のハリー・ラグルスHarry Rugglesに賛成を求め、不動産屋のウィリアム・ジェンセンWilliam Jensenも加わり、3月9日シールの事務所にクラブを置き、3月21日シールを会長とし、ジェンセンが幹事、ショーレーが記録係、そしてラグルスが会計ということで、ともかくクラブの形だけは整えられた。

この6人は、いずれも生まれ故郷を遠く離れてシカゴへ出て来ている、互いに知り合わぬ「路傍の人」であったが、いずれも常に家郷を思い友情に飢えていたので、この集まりははじめはただ友情を深め、互いの仕事を助け合おうというに過ぎなかつた。

クラブの名も、はじめは「ブースター」"Booster"といわれていたというが、やがて各自の仕事場を見聞きするため会合を回り持ちにし、会長や役員も一年ごとに回り持ちにしていたところから、「ロータリー」"Rotary"と名付けられ、隔週1回、会合して新聞記事を読み合ったり、ラグルスが歌をうたうことを始めたりしていたが、後に会員も増やってきて、食事を共にということになると、回り持ちも不便となって、会合にはレストランが用いられ、1905年6月の第2木曜日にシャーマン・ハウスSherman Houseで開かれた。

最初の定款が出来たのは、1906年1月で、(1)会員の職業上の利益の増進、(2)親交と社交のクラブに普通付帯する望ましい事柄の増進、をその目的としていたが、その年のうちに、(3)シカゴ市の最善の利益を振興し、会員間に市民としての誇りと忠誠の精神を鼓舞することが加えられた。

ポール・ハリス自身は2年後まで会長になるのを遠慮して



いたが、クラブを常にはつらつと動かして行くためには工夫が必要だといって、全員資格を一年ごとに切り、その成績で次の会員をきめることにしていたが、間もなく欠席を4回以上続けるか、半年間の出席率が60%に満たない時には会員資格が失われることにかえられた。

この回り持ちと1業1人制とはロータリーの専売のようにいわれているが、このようなアイデアは、古くはソクラテスSokrates、キケロMarcus Tullius Ciceroの昔からあって、近くは17世紀のはじめ、ロンドンに会員が交互に招き合って会合するクラブが、しかも「ロータ」と名付けられてあつたし、18世紀の後半には、『ローティション・クラブ』というのがあって、毎週集会をやっていたという。

また18世紀のはじめにあった『2ペニー・クラブ』は、同じ職業の者は会員にしないとして1業1人を規約していた。

またフィラデルフィアにフランクリンBenjamin Franklinがつくった『ジャンツ・クラブ』は、これまた職業別会員制で、会員の友好と向上をはかつて40年も続いていたといわれている。

しかしながら、「これらのものとロータリーの違うところは、奉仕の理想を追求する熱意のはげしさと強さにあるのだ」とポール・ハリスは強調している。

さらにポール・ハリスは、その著 "This Rotarian Age" (『ロータリーの理想と友愛』米山梅吉訳) の中で、「ロータリーのごとき運動の発芽期としては、20世紀の初頭ほど絶好の時期はなく、同時にそれを育成して確固たる方向に示すべき土地としては、この攻撃的な男性的な、しかもエセ理屈の多いシカゴの地ほど適切な都市は無かったと述べている。

ポール・ハリスは2年後によくやく会長となつたが、この時はじめて、同様のクラブを他の都市にも持ちたいと考えた。

そして、1908年に同じ目的規約を持つクラブがカリフォルニア州サンフランシスコにできたが、これは、まったく若い法律家のホーマー・ウッドHomer Woodの努力によるものであつた。

ホーマー・ウッドは、その翌年にはオークランドに、引続き



ロサンゼルス、シアトル、また、さらにニューヨーク、ポストンなど、東海岸におけるロータリークラブの設立にも手を貸している。オークランドのクラブが毎週1回の規則正しい午餐会をはじめて規約としたのであった。ロータリーの記章も、1906年に馬車の車輪が用いられたが、1912年に歯車の形が採用された、1924年に、24枚の輪歯を6本の軸、および一つの楔穴を有するものが制定せられた。

1908年1月、チェスリー・ペリーChesley R. Perryがシカゴクラブに入ってきたが、彼は1910年から1942年に70歳でやめるまでの32年間、国際ロータリーの幹事、事務総長をつとめたのであった。

ポール・ハリスは、「もし、私がほんとにロータリーの設計者と呼ばれるものならば、チェスリー・ペリーこそほんとにその施工者と呼ばれるべきものである。」と言っている。

このチェスリー・ペリーが司会して、14クラブの代表者を含む60名がシカゴのコンгрスホテルCongress Hotelに集まって、全米ロータリークラブ連合会National Association of Rotary Clubsができたのが1910年8月であった。その時、ロータリークラブの数は16で会員数もわずか1,800名であった。

この連合会の会長はポール・ハリスで、幹事はチェスリー・ペリー、そして、事務所はペリーのいたファーストナショナルバンクビルFirst National Bank Buildingに置かれたが、ここがそれから長い間、国際ロータリーの本部となつたのである。

この年はじめて国境をこえて、カナダのウィニペックにクラブが生まれ、翌1911年には、大西洋をこえてイギリスのロンドンおよびマンチェスターにつくられたが、同時にアイルランドのダブリンとベルファストにクラブがすでに結成されているのを知った。

1910年の末、ポール・ハリスは「合理的ロータリー主義」と題する論文を書き、それにペリーが二つ三つの記事を加え、8頁のタブロイド型の“National Rotarian”をつくり、1911年1月に配布したところ、たいそう好評で増刷し、さらにポートランド大会への出席勧誘の記事をのせた第2号を出したが、



それによってこの大会でロータリーの機関誌を発行することが決議された。かくして1912年9月“The Rotarian”と改名し、毎月発行して今まで続いているが、17年間はチェスリー・ペリー事務総長自ら編集に当たっていた。

1912年ミネソタ州ドウルースにおける大会には、41クラブから代表が集まり、カナダからも出席があって、名称がロータリークラブ国際連合会と改められ、グレン・ミードがその初代会長に選ばれ、ポール・ハリスは名誉会長に推された。

その時のクラブ数は50、会員数は5,000人と称せられ、ここではじめてディビジョンが設けられ、アメリカ合衆国に5、カナダに2、グレートブリテン及びアイルランドに1と計8地区が置かれた。そして1915年7月、その時の186クラブをさらに19地区に分割し、番号をつけてそれぞれに地区ガバナーを置いた。



## 日本でのロータリークラブの誕生

三井銀行の米山梅吉は、男爵目賀田種太郎を団長とする財政調査団に加わり、1918年の正月をテキサス州ダラスで迎えた。

ここには、三井物産の福島喜三次がいて、部下のドイツ人ウィリアムが、1914年戦争で帰国した後をうけて、ダラスロータリークラブの会員になっていたので、米山梅吉はここではじめて福島喜三次からロータリーについて聞き、大いに心を動かされて帰ってきた。

1920年1月、福島喜三次も日本へ帰り、ダラスクラブから日本にもロータリークラブをつくるように勧められ、シカゴの本部からも同年6月までにつくる許しも受けていたが、期限内にはできなかったので、シカゴからパシフィックメールスティームシップ会社横浜支店長のウィリアム・ジョンストンWilliam L. Johnstoneを応援に加えられ、改めて福島喜三次に委任してきた。

アメリカ合衆国のように開拓された土地に新しく生まれた社会では、それを健全に守るために、何よりもフェローシップ(仲間意識)が大切であるが、そのフェローシップをもとにして、アメリカに生まれたロータリーに対して、長い封建鎖国の時代から明治維新を経て、大正デモクラシーといわれてもほんのうわべだけで、旧態依然たる当時の日本人々にとって、その精神はもとより、その組織運営についても、これを理解し受け入れることはまことに容易ではなかった。

ようやく1920年8月、銀行クラブに18名を集めて説明し、9月1日、それが発起人会を開いて準備し、10月20日、銀行で、24名で創立総会を開き、東京ロータリークラブが誕生したのであった。翌1921年4月1日付で、登録番号855をもって承認せられた。



## 後記

その後太平洋戦争の勃発により、日本も一時国際ロータリーから脱退せざるをえなくなりました。しかし日本のロータリアンはその後もロータリー精神をよく堅持し、会合を開き、その真髄と組織を維持してきたのであります。

戦後平和が訪れ、再び国際ロータリーに復帰し現在までの発展を続けております。北は北海道、南は沖縄まで、クラブ数は2,280有余、会員数は123,000余名に達しております。そして更にすべての都市、すべての町にその理想の翼を広げる努力がなされています。

会員は地域内の理想にもえる堅実な実業家、専門職業人の中から「定款」により1業種1人を選び、週1回のクラブ例会出席によって、各種職域人の交友を通じて地域社会へのより多くの奉仕の機会を得ようとはかっております。

## そして横浜緑ロータリークラブは……

1969年7月26日緑地区拡大協議会臨時総会に於いて緑区拡大に対する議題を皮切りに協議が重ねられ、会長石川治道氏、幹事柴田清氏のもとに、会員数24名で1970年2月28日に創立されました。そして年々発展を重ね1999～2000(平成11～12)、森 宏会長、須藤 保夫幹事のもと今日に至っております。

横浜緑ロータリークラブ20周年記念式典



受付風景



記念式典会場桐蔭学園メモリアルホール

創立20周年記念式典風景から



開会のことは  
鵜川 昇 20周年記念実行委員長

点鐘 代々木和男 クラブ会長



開演のことは  
田沼 文衛 会計部会長

創立20周年記念式典風景から



ソングリーダー 赤柄忠昭



来賓の方々



谷口ガバナーを囲んで談笑



創立20周年記念式典風景から



鏡割



創立20周年記念式典風景から



-20-

# 創立三十周年 記念式典

2000年4月1日  
ソシア21 オーロラ



-21-

横浜緑ロータリークラブ30周年記念式典  
プログラム

第1部 記念式典

14:00	来賓受付	司会 式典副委員長 横浜緑R.C会長 ソングリーダー	藤田 孝次 森濱田 宏茂
15:00	点合 鐘唱 「国歌」「奉仕の理念」 物故者に対する黙祷 開会のことば 挨拶 創立時を省み 記念事業報告 記念事業目録贈呈 感謝状贈呈 来賓祝辞	横浜緑R.C会長 実行副委員長 実行委員長 実行委員長 第2590地区(PG)チャーターメンバー 記念事業委員長 横浜緑R.C会長 横浜緑R.C会長	森岡宏健 本下栄蔵 下川榮昇 山鶴市榮一 瀬森宏 森森宏
		横浜市長代理(助役) 横浜市緑区長 RI第2590地区ガバナー 横浜港北R.C会長	清水利光 町田治夫 百福春卓 木岡
	祝電披露 閉会のことば 点詔 諸事お知らせ	式典副委員長 実行副委員長 横浜緑R.C会長 式典副委員長	藤津均 遠藤典宏 森田孝次
16:00			

※全員お隣の会場エトワールへご移動願います。

第2部 記念アトラクション

16:10	開演のあいさつ 開演(モダンバレエ)	司会 祝賀委員 実行委員会幹事 ナレーター 企画演出	大地哲郎 河渕雄 金沢博 宇佐美総
17:00	閉演と諸事お知らせ	実行副委員長	鶴岡武

※全員お隣の開場オーロラへお戻り願います。

第3部 記念祝賀

17:10	開宴のことば 鏡開き	司会 祝賀副委員長 式典委員 横浜市長代理(助役) 横浜市緑区長 RI第2590地区ガバナー 実行委員長 横浜緑ロータリー会長 第2590地区(PG)チャーターメンバー	代々木和治 矢島利光 清水治夫 町田春栄 百山藏宏 森鶴川昇
18:30		第5分区代理 祝賀副委員長 ソングリーダー 祝賀副委員長	根岸譲一 加藤喜夫 濱田茂和 代々木和男

乾杯  
懇親会  
閉宴のことば  
ロータリーソング(手に手つないで)  
諸事お知らせ

第5分区代理  
祝賀副委員長  
ソングリーダー  
祝賀副委員長

## 横浜緑ロータリークラブ30周年記念式典

### 来賓ご芳名

#### 行政及び一般

横浜市助役  
横浜市総務局長  
横浜市都筑区長  
横浜市青葉区長  
神奈川県警察署長  
神奈川県港北警察署長  
都築警察署発足準備室 室長  
横浜市緑消防署長  
横浜市都筑消防署長  
横浜緑土木事務所所長  
緑区連合町内会自治会長  
神奈川県立中里学園長  
横浜みどりライオンズクラブ 会長  
横浜あおばライオンズクラブ 会長  
横浜商工会議所みどり支部 事務所長  
青葉区医師会会长  
都筑区医師会会长  
緑区商店街連合会 会長  
(社団)横浜北工業会 専務理事  
(社団)横浜ファッション協会 事務局長  
大川RC関係

物故会員遺族  
物故会員遺族  
物故会員遺族  
物故会員遺族  
物故会員遺族  
物故会員遺族

清水 利光  
町田 福治子  
中西 雅三  
尾崎 秀昭  
杉山 利輝  
鬼木 利久  
森 大太郎  
宮誠  
溝義文  
泉信  
柳勤  
下健  
米勝  
山幸  
嶋静  
上村立  
木美  
井博  
澤司  
中野雄  
三堀重  
餅由  
丸利  
山実  
前田力  
川カン

#### ロータリー

第2590地区ガバナー  
横浜港北RC会長  
ガバナーエレクト  
地区幹事  
第5分区代理  
ガバナーノミニー  
バストガバナー  
バストガバナー  
バストガバナー  
バストガバナー  
バストガバナー  
地区ロータリー財団委員長  
地区インターラクト委員長  
地区青少年奉仕委員長  
地区R情報広報委員長  
地区副幹事  
地区副幹事  
地区協議会実行委員長  
地区米山学友委員長  
地区米山奨学生増進委員長  
地区世界社会奉仕委員長  
地区社会奉仕委員長  
地区米山奨学生委員長  
神奈川RC会長  
横浜RC副会長  
横浜日吉RC  
横浜南中央RC会長エレクト  
地区国際親善奨学生学友委員長  
地区ロータリーの友委員  
横浜旭RC会長  
横浜旭RC幹事  
横浜瀬谷RC会長  
横浜鶴谷RC幹事  
横浜鶴峰RC会長  
横浜鶴峰RC幹事  
横浜港北RC幹事  
川崎鷺沼RC会長  
川崎宮前RC会長  
川崎百合丘RC  
川崎中原RC会長  
川崎中原RC幹事  
川崎多摩RC会長  
川崎多摩RC幹事  
横浜鶴見北RC会長  
横浜鶴見西RC会長  
横浜南RC会長  
横浜港南RC会長  
横浜田園RC会長  
横浜田園RC幹事  
横浜たまRC会長  
新横浜RC会長  
新横浜RC幹事  
横浜あざみRC会長

夫卓治夫  
春泰恒讓  
木岡間  
百室本  
高根上  
岡谷鈴  
鈴石鈴  
露吉長  
須内石  
松白梅  
梅山川  
大北松  
前田黒  
小華和  
木後近  
遠小森  
大森原  
小原碓  
碓鈴河  
河横鈴  
木横鈴  
木川藤  
川藤田  
市江川  
井上藤  
佐野瀬  
佐廣瀬  
川瀬名  
出川輝  
弘子

(順不同)

## 開会のあいさつ

創立30周年記念実行委員長

山下 栄蔵



ご挨拶を申し上げます。本日は、横浜緑ロータリークラブ創立30周年記念式典を開催するに際しまして、ご案内を申し上げたところ、行政よりは横浜市長代理として、清水助役様、地域内緑、青葉、都筑3区の区長様と、警察、消防の署長様、同じ地域よりは、3区の住民代表であるそれぞれの連合自治会の会長様方、産業団体と医師会、歯科医師会のリーダーの皆様方、また、私達と同様な目的で奉仕活動をされておられますライオンズクラブのリーダーの方々等、多くのご来賓の方々、ロータリークラブ関係では、百木ガバナーを始め、2590地区バストガバナーと地区役員、各クラブ会長様と会員の皆様方、そして私達横浜緑ロータリークラブ会員と家族の皆様方、日頃は、横浜緑ロータリークラブ運営及び活動への、ご支援ご協力を頂き有難うございます。本日はお忙しいところご出席賜り、本当に有難うございました。

国際ロータリークラブは、1905年(明治38年)発足で、この年の日本は日露戦争の最中で、東郷元帥率いる日本の艦隊と、ロシアのバルチック艦隊が日本海で海戦を行い、日本の勝利を決定的とした年であります。またその3年前には、ノースカロライナの海岸で、ライト兄弟が初めて飛行機で852フィートを飛び、航空機発達の第1歩を踏出した頃であります。

この1905年2月23日の夜、アメリカ合衆国シカゴで、弁護士ポール・ハリスの呼び掛けに依り、鉱山技師ガスター・ロードの事務所で、仕立て屋のハイラム・ショーレーと、石炭商のシルベスター・シールの4人が集まり、ポール・ハリスより「実業人も必ず心からの友人になれる。また、職業のちがう人達が定期的に集まつたらどうか」と、常に主張している事柄を説明し、皆がこれに同意して、後日クラブを「ブースター」として発足、以来、今年で95年となるのでございます。

以後この活動が拡大され、日本には1920年(大正9年)10月20日に、会員数24名で創立総会を開催、「東京ロータリークラブ」として、日本で初めてロータリークラブが誕生致しました。

横浜には1927年(昭和2年)6月1日、横浜ロータリークラブ

が21名で、日本で6番目に発足。1960年(昭和35年)6月17日、日本で387番目として、会員25名で神奈川ロータリークラブが誕生致しました。この席に、現在の北川会長様がご出席しております。我々緑ロータリークラブにとっては、おじいさんのクラブということになるのです。この神奈川ロータリークラブの子クラブとして、1962年(昭和37年)1月13日、私達の親クラブの横浜港北ロータリークラブが、日本で482番目に会員22名で創立され、その後横浜市の行政区再編成に伴い、港北区より分区され緑区が誕生するに際して、横浜港北ロータリークラブがスポンサークラブとして、1970年(昭和45年)2月28日、私達の横浜緑ロータリークラブが、日本で986番目として、会員24名で誕生致しました。初代会長の石川治道さんは、残念ながら物故者の中に入ってしまったのです。

ちなみに、昨年1999年10月末現在の日本のロータリークラブ会員の内訳を申し上げますと、2,285クラブ会員総数は12万3,954人、今日も5、6人の女性会員の方がご出席頂いておりますが、女性会員は2,154名おられます。

なお私達横浜緑ロータリークラブは、皆様方のご支援ご協力に依り、1978年(昭和53年)5月27日には子クラブとして横浜田園ロータリークラブ、1983年(昭和58年)3月27日、横浜たまロータリークラブ、1991年(平成3年)5月28日、新横浜ロータリークラブ、尚、孫クラブとして横浜あざみロータリークラブなど、お手伝いをさせて頂きながら、誕生の喜びと共に味わったのでございます。お陰様を持ちまして、私達横浜緑ロータリークラブは、本日創立30周年記念式典を開催する運びとなりました。皆様方よりクラブ運営と活動へのご指導ご支援に、改めて感謝申し上げると共に、本日は式典の後、アトラクション、最後の懇親会までおつき合いくださることをお願い申し上げます。

最後になりましたが、本日の式典は、できるだけ肩の凝らない、あまり小さいことにこだわらない行事として考え企画致しました。何とぞ不行届きや失礼なこともありますかと心配しておりますが、そのような際には、思いやりと寛容の精神をもって、ご容赦くださいますようお願い申し上げて、私の挨拶とさせて頂きます。

## 祝辞

第2590地区ガバナー

百木 春夫



本日ここに横浜緑ロータリークラブが創立30周年をお迎えになります、私2590地区の61のクラブを代表致しまして、お祝の言葉を申し述べさせて頂きます。大変光栄に存ずる次第でございます。只今まで色々先輩のお話がございました30年という長い歴史の中でいかにこちらのクラブが長い歴史の中で活躍され、変化されそして今日をお迎えになったと。決して安易な道ではなかったと30年の長い歴史と伝統を振り返るお言葉の中に各々を感じた次第でございます。

もう私の口から申し上げるまでもなく1970年にこちらのクラブは横浜港北ロータリークラブをスポンサークラブと致しまして山崎卯一特別代表の元、ご指導の元に24名の会員でスタートなさったクラブでございます。そして今から考えますと、とても考えられなかつたその当時、横浜港南、横浜瀬谷、横浜旭そしてこちらの緑。4つのクラブが合同してチャーターナイトをなさったという記録になっております。1年間でその4つのクラブが出来て、それが合同してチャーターナイトを行うなんていう事はやはり1970年代のロータリーの力だったんだな、1970年代の世の中の勢いだったんだなという事を痛切に感じる訳でございます。その様な多くのクラブができました後1990年から1991年度に架けて、先程お話を頂きました鵜川バストガバナーがガバナーに輩出されまして横浜緑クラブの黄金期を迎えた訳でございます。特に鵜川先生のお話から、私は熟と一人の人間の指導力というものが如何に一つのクラブに大きく影響を及ぼしているかという事を痛切に感じた訳でございますが、先生のご専門の青少年教育という事に付きましてこの緑クラブはインターラクトもローターアクトも両方提唱していらっしゃる。これは中々出来ない事でございますが、若い者達を指導して行こうという強いお気持ち、その現れだという風に私は拝見しております。ガバナーをお出しになったガバナーズクラブでございますけれども、又、地区に対しましては常に地区的役員、そして委員長その他多くの方々を輩出されて常に地区的運営に対して力強い御協力を頂いてきております。又、その30年間に横浜田園、横浜多摩そして新横浜ロータリークラブを

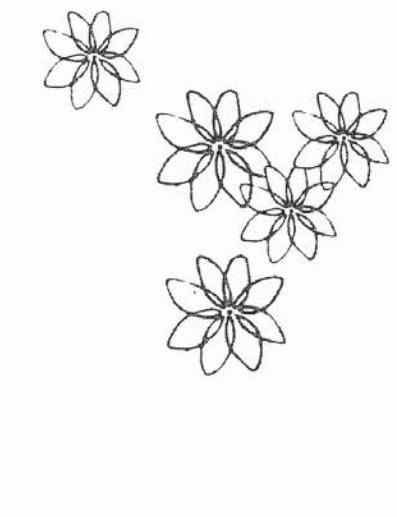
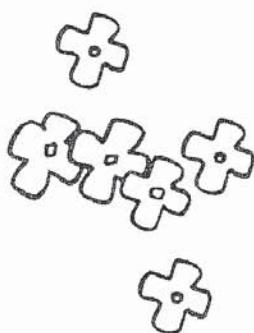
拡大しておられる、30年間に3つのクラブそして孫クラブまでそれから生まれてきている。全てのロータリーの理想と申しますか、やるべき事を着実にこなして今日をお迎えになったという事を私は感じております。記録から見ますと、財団や米山に関しましても、常に高額なご寄付を頂き、そして毎週の例会への出席率も常に90%代を維持しておられる。大きな問題から小さな出席率まで、ロータリーはこうあるべきだと全部実行に移してやっていらっしゃる姿、これはやはり大きな指導者がいて大きな理想というものに向かって皆さんのが協力してそういう結果を生み出しているものと思って、大変私は横浜緑クラブのクラブ運営に関しまして心から敬意を表する次第でございます。

30年間の歴史と伝統、これは一つにまとめて考える訳にはまいりません。先程鵜川先生もおっしゃいましたけれどもいい伝統といい歴史というものがある。それがあればある程30年という長い間に積もった悪い歴史と申しますか、悪い伝統も無いとは申せないと思います。やはり、古い時代が経ちますと、染みや垢も溜ってくる。これを如何に取り除いてこれからの新しい時代の21世紀にラビッツァ会長が言うように、ロータリーが生き残る為に如何なる変革をしなければならないかという事をお考え頂く上において、この30周年記念というものはただおめでとう、良かった良かったと、ただ自肅するだけではなしに大きくそこでこれからの新しい時代の横浜緑ロータリークラブをお考え頂くための大変な一つの出発点にお考え頂きたいと、こういう風に思う訳でございます。求められるロータリーの改革を実行する勇気、ラビッツァさんは今月号の友のR. I 指摘の中でもはっきりと改革する勇気を持とうと、我々が今積み上げて来た95年に渡るロータリーの運営方針というものは、非常に巨大化し、官僚化してきているので、実際に我々がしなければならない世の中のニーズに対して、世の中の求められている奉仕に対してどれだけの価値のある規則があるのだろうか。これはもう官僚化した人達が次から次に加えて行った細かい規則というものだけが先行してしまって実際に求められている奉仕というものに対してその規則と言うものが殆ど役に立っていない。こういうものは全部やめてしまおう。そしてロータリーが本当に必要な奉仕をするには僅か数項目の規定があれば充分にできる。後は各クラブの自主性に任すべきだという事を今月号の友で語っておられます。誠に的を獲た言葉だと。ラビッツァさんでなければ言えない思い切った発言だなという風に思います。そのように21世紀を迎えた今日、我々ロータリアンは常に変革と言うものを考え、長年の伝統の中にある良いものは残しますけれども慣習というような言葉で我々が行う10年間やってたから30年間やってたからそのまんまで良いだろうというのは、これは、1つの慣習であって、生き

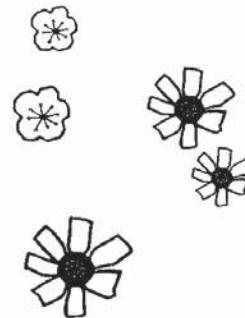
た実行には当てはまらない。継続という言葉を間違えないで頂きたい。ラビッツァさんの言ってる継続は10年前の事を、未だに同じ事を繰返すのが継続では無くて、継続して行く時には積み上げたもので次に新しく継続して行こう。昔ながらの事をやっていたんでは駄目だと。新しい時代に則した、新しいニーズに応えられる柔軟な考え方を持って継続する事が、ロータリーにとって非常に大事なんだと、こう言っておられます。

横浜緑ロータリークラブも本当に素晴らしい実績を残しておりますが、ただ単なる継続をお続けになるのでは無くて30周年というものをお迎えになったその明日から新しい時代に21世紀に横浜緑ロータリークラブがこの地域に絶対に必要なんだと、ロータリークラブが無くなったり構わないよと言われる様な事が無いように、ロータリークラブがなくてはならない地域だという風にクラブを変革させて頂きたい。お祝の言葉にしては少々辛口になりましたけれども、どうぞその点皆様ご認識頂きまして、益々横浜緑ロータリークラブがこの地域において横浜北部において存在価値のある、そして、信望を得るに足るクラブにご発展下さる事を心からお祈り申し上げまして期待申し上げまして私のお祝の言葉に代えさせて頂きます。

横浜緑ロータリークラブ、どうぞ今後益々のご発展をなさいますように。そして、鵜川先生もどうぞ今後益々ご指導を賜りますように心からお願ひ申し上げまして、御挨拶に代えさせて頂きます。ありがとうございました。



## 祝辞



横浜市長

高秀 秀信

2000年という大きな時代の節目の年に、横浜緑ロータリークラブが、創立30周年を迎えることを心からお祝い申し上げます。

貴クラブは、創立以来、30年という長きにわたり、会員相互の親睦を深めながら、幅広く地域に密着した活動を積極的に繰り広げられています。日頃からそれぞれの分野の第一線でご活躍のかたわら、クラブの活動に尽力されており、そのバイタリティあふれる皆様の行動力に深く敬意を表する次第です。

私は、思いやりの心を持ち、子どもたちや苦しむ人を保護し、高齢者の支援を行い、平和な世界の実現に向け、全力で取り組まれている皆様の活動が、心豊かな地域社会づくりに大きな役割を担うものと多いに期待しております。

そして、創立30周年を機に、横浜緑ロータリークラブの友情と奉仕の輪がさらに大きく広がり、福祉の灯がともし続けられることを願っています。

私も、新しい世紀が、子どもも高齢者も障害者も、すべての市民が、住み慣れた地域や家庭で充実した生活が営むことができる時代となるよう、「心通う福祉社会」の実現に向けて全力で取り組んでまいります。

引き続き、横浜市政の推進にお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、横浜緑ロータリークラブの更なるご発展と、会員の皆様のご健勝・ご活躍を心からお祈りいたしまして、お祝いのことばとさせていただきます。

## 祝辞

横浜市緑区長

町田 福治



只今ご紹介を頂きました緑区長の町田でございます。昨日、市長から、高秀市長から緑区をやりなさいという事で辞令を頂戴致しました。ここに列席の中で、先程ご紹介がありました、中西都筑区長、それから青葉尾崎区長共々今日は参列をさせて頂きました。代表して私が喋りなさいという事でございますので、高い所からお祝いの言葉を述べさせて頂きたいと思います。

創立30周年という長い年月をご努力頂きました横浜緑ロータリークラブの記念式典、本当におめでとうございます。ひと口に30年と申しましても、この間弛まぬ努力やきつい様々な状況があったと思いますけれど、よくぞここまでご努力なさいまして本当に今日を迎えた事は本当に有難くおめでたいと思っております。

私共も今日はたまたま介護保険のスタートという事で私共としては高齢社会に向けた福祉の1つの起点の日となっております。そういう意味では、各区もこの介護保険に向けて今始動を開始した訳ですが、お陰さまで皆様方のご協力もありながらどうにか今円滑に進んでいるようでございます。そういう意味では、このロータリークラブの皆さんは奉仕と弛まぬ自己研鑽の努力が30年というこの大きな節目を迎えたものと、私は思っております。将来21世紀を迎えるに当たりまして、超高齢化社会、或いは経済の低成長がまだまだ続く中でこの地域支援という大きな仕事が、やがては大きく花開くものと私は確信をしております。私共も市民福祉という大きな起点に立って区行政を推進して参りたいと、こう思っております。それには、皆様方1人1人の会員のお力添えが無ければと私共は思っております。どうか引続いて宜しくご支援の程をお願い申し上げます。

又、最後に当たりますが皆様方この会員の方々が益々御健勝で横浜緑ロータリークラブが益々発展を致しますよう、心からお祈りを申し上げます。引続いて宜しくご支援の程をお願い致します。今日は御目出度うございました。

## 祝辞

横浜港北ロータリークラブ

室岡 卓



本日は、横浜緑ロータリークラブ創立30周年記念式典を盛大に開催され、心よりお祝申し上げます。私共スponサークラブと申しましても私の知る限り、余り親らしい事もして無かったのではないか、かような事を思っております。この様にして、祝辞の栄光に預かり、寧ろ大変恐縮致しております。2月の神奈川西ロータリークラブチャーターナイトの時に清水第4分区代理から森会長を紹介して頂きました、3月2日の私共の例会に森会長を始め須藤幹事にお越し頂き記念式典のご案内とご挨拶を頂きました。それまでは、私も大変不勉強で私共のクラブから独立された事は聞いておりましたが、実感できず、記念誌等を見たりして特別代表が私共初代会長の山崎卯一氏と知った様な訳でございます。その当時からの会員も現在では6名全会員の10%弱となって、改めて年月の経過を実感しております。ひと口に30年と申しますが、その過程の中で、色々な事があった事はお察し致します。それらを一つ一つ解決され、会員の皆様が努力され、時代と共に変化し、この30年を迎えた事と思っております。私の好きな言葉に、「花それぞれ、人それぞれ、それぞれの花を咲かそう」と、あります。既に地域に溶け込んだ立派なクラブでありますし、素晴らしい花を次々と咲かせておられます。今までの疎遠をご容赦頂き、この30周年を境に新しい関係を共々作って頂けたらと願っております。終わりになりましたが、森会長を始め、会員の皆様方の御健勝と横浜緑ロータリークラブの益々のご発展を心より祈念致しまして私のご挨拶とさせて頂きます。本日はおめでとうございました。

## 創立時を省みて

国際ロータリー第2590地区バストガバナー  
横浜緑ロータリークラブチャーターメンバー

鵜川 昇



横浜緑ロータリークラブ・チャーターメンバーを代表しまして、創立時の想い出をお話したいと存じます。チャーターメンバー24人中、30年経った今日残っておりますのは、先ほど開会の辞を述べられました岡本健氏と2人になりました。その間に亡くなられた方もおられます、事業の関係でロータリーを続けることができなくなったという人が少なくありません。ロータリーの基本的な考え方について行けなくなつた方もおられます。そういう方を引き留められなかつた私たちの力については申し訳なく、反省しなくてはならない点が沢山あります。「石の上にも3年」と言いますが、過去の1世紀にも相当する30年の年月の間に、ロータリークラブとしての実績を地道に続けた会員諸氏と歴代会長・幹事・役員ならびに歴代ガバナーをはじめ地区の皆さんに感謝の言葉を贈りたいと存じます。皆さん、ありがとうございました。

創立に際しては、当時、横浜港北ロータリークラブの会長をしておられた戸田修氏と幹事の加藤雅光氏が中心となり、特別代表・山崎卯一氏とともに、ロータリーに精通しておられた鈴木憲一氏の4人の方が中心でした。私はロータリーのメンバーとして、また、ガバナーをした経験から多くのロータリアンの方と交際する機会を得、多くの友人、知己を得ましたが、この4人の方は、ロータリアンとしては勿論、社会人として、トップクラスの立派な方々だったと思います。これだけの人材により、基礎が固められた横浜緑ロータリークラブは極めて恵まれたスタートをしたものと考えます。

その中でも、鈴木憲一氏は、地元の大地主として、五島慶太氏が一目置かれた方で、現在の田園都市線設置の構想は、鈴木氏の構想と言われています。教員出身で、現在の横浜国大、旧鎌倉師範を卒業し、敗戦の混乱後、衆議院議員・参議院議員もされ、政治力のある方でしたが、横浜緑ロータリークラブのスタートした頃は、政界とは一切関係なく悠々自適の生活をされていて、趣味として椿の木を全国から集められ、辯談話もご自宅を開放、奥さんともどもロータリーを楽しんでおられた感じでした。この方は、ある時、会員の中で「ロータリー屋」がいるという発言がありました時に、「ロータリー屋

## 横浜緑ロータリークラブ創立30周年 記念式典

### 祝 電

創立三十周年を心よりお慶び申し上げます、貴クラブの今後益々のご発展をお祈り致します。

文部政務次官 衆議院議員 小此木 八郎

30周年記念おめでとうございます。  
貴クラブのますますのご発展と会員の皆様のご健勝とご活躍を  
祈念申しあげます。

横浜都筑区ライオンズクラブ

創立記念日を迎えられ、こころからお祝い申し上げます。  
貴クラブのいよいよ隆盛をお祈り申し上げます。

川崎西RC 会長 片岡 登美夫

横浜緑ロータリークラブ創立三十年おめでとうございます。  
ますますのご発展をお祈り申し上げます。

パストガバナー 内野 栄一郎

横浜緑ロータリークラブの創立30周年を心よりお祝い申し上げ、ますますの  
ご発展と会員皆様のご健勝をご祈念申し上げます。

パストガバナー 上野 良一

創立30周年記念、心よりお祝い申し上げます。  
貴クラブのさらなるご発展と、会員皆様のますますのご活躍をお祈りいたします。

パストガバナー 大須賀 洋

横浜緑ロータリークラブ創立三十年おめでとうございます。  
貴クラブのますますのご発展を祈念申し上げます。

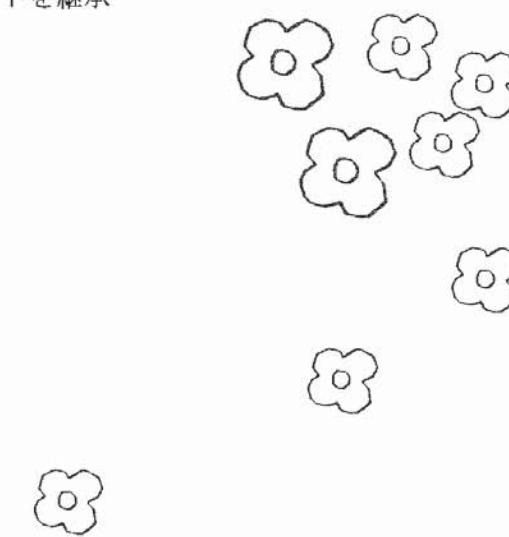
パストガバナー 青山 彰義

創立三十周年、誠におめでとうございます。  
横浜緑ロータリークラブのますますのご発展と、会員の皆様の  
ご繁栄を心よりお祈り申し上げます。

パストガバナー 石澤 芳郎

とは何ですか」と珍しく大声を上げ、たしなめられたことがあります。ロータリアンとしての行動を形だけやっている人を批判した言葉で、言った人のこの発言は正しかったとも言えますが、何ごともロータリーの綱領を振り回す、半知半解の言と形式的なロータリアン、実を伴わないロータリアンをたしなめる見解として、千鈞の重みがありました。ロータリーの綱領は大切ですが、規定さえ守ればいい、例えば、メキヤップしても、例会の早退にしても、規定に従っていればいいという考え方については警鐘を鳴らしていました。しかも、批判・忠告ということを公にすることはなく、個々に感化、影響を及ぼすという姿勢で、ロータリークラブがスタートした時、教条主義になる傾向を避けられたのは、鈴木憲一氏の存在が大きかったと思います。畏敬の念で全会員が感化された思いが強くしました。

山崎卯一特別代表は、ロータリーの本来あるべき姿を極めて端的に指導された。また、同時に、理想に燃えて、横浜緑ロータリークラブを作られた戸田修氏と加藤雅光氏の力も大きかったと思います。お二人は発足当時、横浜港北ロータリークラブの会長・幹事をしておられたために、チャーターメンバーにはなっていません。横浜緑ロータリークラブがスタートしてからの入会となっているはずです。初代会長の石川治道氏も、老成した感じのあるロータリアンでした。横浜緑ロータリークラブは、こうして人材に恵まれ、その後、歴代会長・幹事のご尽力、会員のご協力で、地区の中でも特別な風格と活動の実績あるクラブとなり、現在に到っています。世の中の動きが極めて難しくなり、享楽と個人主義が世を覆っている現在、ロータリーの存在は極めて大きいと考えます。その中で、横浜緑ロータリークラブが創立時のファイトを継承して、さらに発展することを祈って止みません。



## 創立30周年 記念事業概要

クラブ創立30年を記念し、目録贈呈、感謝状贈呈が行われた。

### 目録贈呈

- R.I財團への寄付金 ¥300,000
- 米山奨学金への寄付金 ¥300,000
- JR十日市場駅前南ロータリーに記念植樹



### 感謝状贈呈

- 横浜銀行中山支店
- 鶴川 昇
- 岡本 健

### アトラクション

モダンバレエ ナレーター 金沢 博恵  
企画演出 宇佐美 総子

## 創立30周年記念式典風景から



受付風景



創立30周年記念式典風景から



ソングリーダー 濱田茂会員



来賓の方



森 宏会長による点鐘

創立30周年記念式典風景から



開会のことば  
岡本 健 実行副委員長



感謝状贈呈 横浜銀行中山支店



創立30周年記念式典風景から



鏡割



記念祝賀風景



須藤保夫幹事



アトラクション



閉会を告げる加藤副委員長

創立30周年記念式典風景から

## 横浜緑ロータリークラブこの10年

1990年7月～1991年6月

緑区肢体不自由児者父母の会の  
夏期一泊研修旅行後援 8月22～23日



目的地のホテル到着の様子

ボランティア団体「かもめ」に寄付  
4月17日



1991年7月～1992年6月



昨年新しくなったバナー。緑区に普通に自生する  
ぶな科の落葉樹コナラがデザインされています。



1月22日 交換留学生挨拶

1992年7月～1993年6月

市長選立候補に当たってとしてクラブに挨拶に  
来られた横浜市長夫人 高秀美智子様



10月28日



3月3日 留学生リレースピーチ

1993年7月～1994年6月

4月13日  
肢体不自由児者父母の会会长へ  
バザー売上金を贈呈



7月28日 北海道南西沖地震災害に義援金を寄付

## 1994年7月～1995年6月



6月21日 期末懇親会  
米山記念館訪問



9月7日 敬老記念贈呈式

## 1996年7月～1997年6月



12月18日  
クリスマス家族会



9月25日 移動例会“栗ひろい”

## 1995年7月～1996年6月



6月5日 社会奉仕委員会報告



8月16日 交換留学生壮行会

## 1997年7月～1998年6月



7月9日  
米山奨学生 陳 民君  
香港返還についてスピーチ



9月24日  
インターラクト  
研修旅行報告  
吉野勝治君

3月4日  
緑警察署署長 陣 昭三氏  
“薬物防止”ポスターの  
表彰式に出席

1998年7月～1999年6月



10月7日 夜間例会



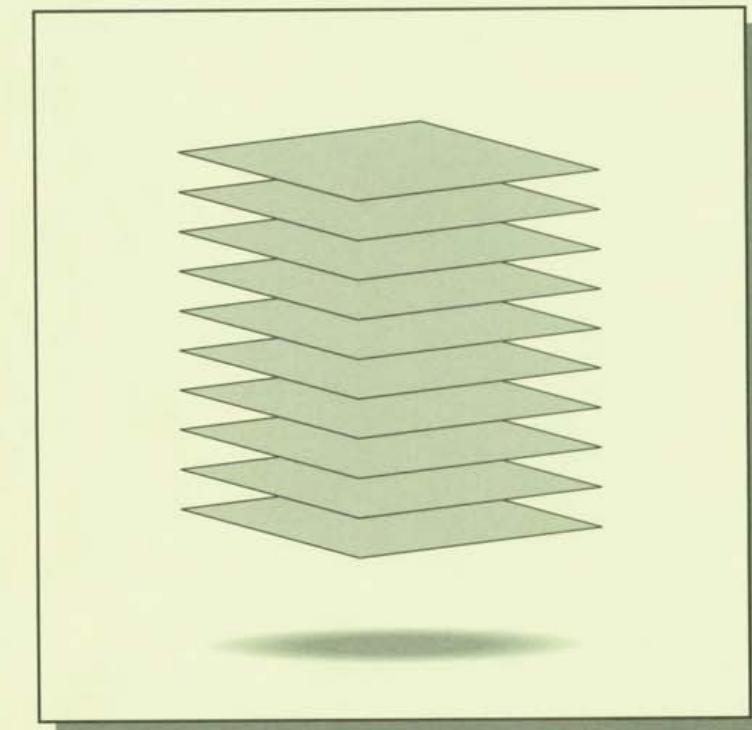
9月2日  
遠藤前会長より国際R.I 広報賞受賞報告

1999年7月～2000年6月



7月22日～25日 韓国大川中央R.C訪問5名

## 10年間に見る 週報の動き



1990(平成2年)～2000(平成12年)

"HONOR ROTARY WITH FAITH AND ENTHUSIASM"

1990~91

R.I会長  
パウロ V.C. コスタ

ロータリーを高めよ  
思いを尽くし  
熱意を尽くし



第1060回例会 No.48 平成3年6月26日 ( JUNE 26, 1991 ) WEEKLY REPORT

例会記録

新規也次別分区代理(横浜田園都市)

- ◎司会 増上S.A.A.
- ◎開会 近藤会長
- ◎合唱 手に手つないで
- ◎車説 「年度末挨拶」会長・幹事
- ◎ゲスト 青山製薬分区代理(横浜鶴見U)

- ◎ビジター 佐原孝郎君(横浜田園都市)
- ◎出席 武田君(新横浜RC)
- ◎御夫人誕生日 白野陽子さん(6月30日)

"Look Beyond Yourself"

1991~92

R.I会長  
ラジェンドラ・K.サブー

自分を越えた眼を

**横浜緑ロータリークラブ No. 1**  
WEEKLY REPORT  
Look Beyond Yourself  
自分を  
超えた  
眼を

**横浜緑ロータリークラブ No.48**  
YOKOHAMA MIDORI ROTARY CLUB  
WEEKLY REPORT  
Look Beyond Yourself  
自分を  
超えた  
眼を

1991~92年度 R.I会長  
ラジェンドラ・K. サブー

"ロータリアンはロータリーを考えよう"  
第2590地区ガバナー 大澤 洋

"君がそぞロータリーの心" クラブ会長 幸内伸雄

会長 幸内伸雄 例会日 指定水曜日 p.m. 0:30~p.m. 1:30  
幹事 横井好明 会場 横浜銀行中山支店会議室  
会報委員長 井上周輔 TEL.(045) 933-1651 会場 横浜市緑区中山町 230  
(横浜銀行中山支店)

第1108回例会  
平成4年6月24日 (JUN. 24, 1992)

例会記録

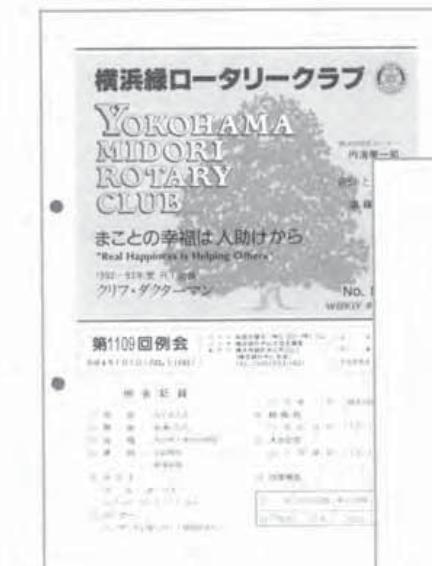
○ 司会	日高 S.A.A.	○ 出席報告	
○ 開会	幸内会長	会員 本日の出席	本日の出席率
○ 会報	手に手がないで	34名	31+3% 91.2%
○ 卓話	一年を省みて	84% 12名	85%
○ ゲスト	なし		
○ ビンター	西 透 様 (君) 横浜南FC	幹事報告	
○ 御夫人誕生日祝	内 野 稲子さん (6月30日)	例会場監修変更	
○ 会長	田 大人	○ 横浜湖谷FC	
		7月 3日 締切会の為	
		7月 10日 *三井亭* に変更	
		7月 31日 18:30より	

" Real Happiness in Helping Others "

1992~93

R.I会長  
クリフ・ダクターマン

まことの幸福は  
人助けから



**横浜緑ロータリークラブ**  
**YOKOHAMA MIDORI ROTARY CLUB**  
No. 1 WEEKLY REPORT  
まことの幸福は人助けから  
"Real Happiness is Helping Others"  
1992~93年度 R.I会長  
クリフ・ダクターマン

**横浜緑ロータリークラブ**  
**YOKOHAMA MIDORI ROTARY CLUB**  
No. 46 WEEKLY REPORT  
まことの幸福は人助けから  
"Real Happiness is Helping Others"  
1992~93年度 R.I会長  
クリフ・ダクターマン

第1154回例会  
平成5年6月30日 (JUN. 30, 1993)

会長 幸内伸雄 例会日 指定水曜日 p.m. 0:30~p.m. 1:30  
幹事 横井好明 会場 横浜銀行中山支店会議室  
会報委員長 井上周輔 会場 横浜市緑区中山町 230  
(横浜銀行中山支店)  
TEL. (045) 933-1651

会長報告

○ 司会	井上 S.A.A.	○ 出席報告	
○ 開会	横井副会長	会員 本日の出席	本日の出席率
○ 会報	手に手がないで	34名	31+3% 84.8%
○ 卓話	夜間例会 (西太郎)		
○ ゲスト	村 松 重 壮 君 (大会予定者)		
○ 出席報告			

第1154回例会  
平成5年6月30日 (JUN. 30, 1993)

会長 幸内伸雄 例会日 指定水曜日 p.m. 0:30~p.m. 1:30  
幹事 横井好明 会場 横浜銀行中山支店会議室  
会報委員長 井上周輔 会場 横浜市緑区中山町 230  
(横浜銀行中山支店)  
TEL. (045) 933-1651

会長報告

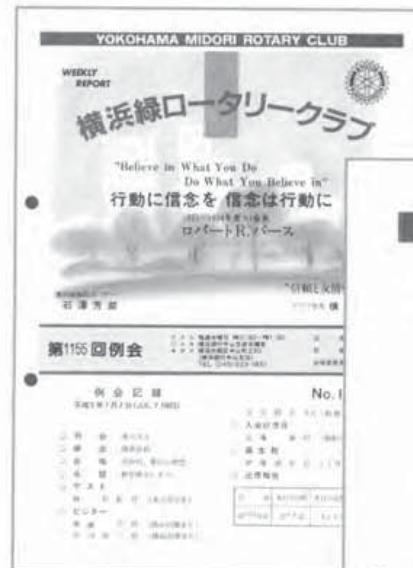
○ 司会	井上 S.A.A.	○ 出席報告	
○ 開会	横井副会長	会員 本日の出席	本日の出席率
○ 会報	手に手がないで	34名	31+3% 84.8%
○ 卓話	夜間例会 (西太郎)		
○ ゲスト	村 松 重 壮 君 (大会予定者)		
○ 出席報告			

" Believe in What You Do , Do What You Believe in"

1993~94

R.I会長  
ロバート R. バース

行動に信念を  
信念は行動に



**YOKOHAMA MIDORI ROTARY CLUB**

**WEEKLY REPORT**

**横浜緑ロータリークラブ**

**"Believe in What You Do  
Do What You Believe in"**

**行動に信念を 信念は行動に**

1993~1994年度 R.I会長  
ロバート R. バース

"信頼と友情を高めよう"

第1199回例会 第1200回例会

例会記録 平成6年6月22日(JUN.22.1994)  
平成6年6月29日(JUN.29.1994)

No.45 46

△司会 森SAA  
△開会 横井会長  
△合唱 手に手つないで  
△卓話 「会期終了挨拶」  
△ビジター 小林豊一君(横浜田園)

△入会記念 村松勇治君(平成6年7月)  
△御婦人誕生日 山下栄蔵君(昭和45年7月)  
△御婦人誕生日 内野陽子さん(6月30日)  
△結婚祝 会田兼三君(6月26日)

1994~95

R.I会長  
ビル・ハントレー

友達になろう



**横浜緑ロータリークラブ**

**YOKOHAMA MIDORI ROTARY CLUB**

**WEEKLY REPORT**

**友達になろう  
Be A Friend**

第1201回例会

例会記録 平成7年6月28日(Jun.28.1995)

司会 临田SAA  
開会 近藤会長代理  
合唱 手に手つないで  
卓話 「会期終了挨拶」

出席報告

会員	本日の出席	本日の出席率	前回出席率
81+11名中	28+8名	80.3%	100%

幹事報告

- 例会臨時変更
- 横浜あさみRC
- 7月より例会場はフランス料理セゾンに変更
- 〒225 青葉区洋子田3-7-1
- ☎ 045-901-6641
- 水曜日12:30~13:30
- 横井会長の病状報告

"Be A Friend"

森 喬助君 横浜各委員長さんへお手様でした。期末懇親会ありがとうございました。会議のため途中にて失礼いたしました。

森 一誠君 本年度会長、幹事役員の皆様御芳様でした。代を木和明君、本年度会長、幹事役員の皆様御芳様でした。

森 一誠君 S.A.A.938回はしたが、何とか一とめさせていただきました。

森 一誠君 家内の誕生日届けていただきありがとうございました。

長谷 博社 期末のゴルフ同好会優勝させていただきました。

森 一誠君 期末懇親会、大変楽しく過せていました。

森 一誠君 幹事会長、幹事さんごくろうきました。

森 一誠君 この形体みまして誠に申訳ありませんでした。

"Act With Integrity, Serve With Love, Work for Peace"

1995~96

R.I会長  
ハーバート・グラハム・ブラウン

真心の行動  
慈愛の奉仕  
平和に挺身

**YOKOHAMA MIDORI ROTARY CLUB**  
WEEKLY REPORT

第1249回例会 No.7 鮎木

例会記録 \* 営業報告  
平成7年7月31日(水) 横浜銀行中山支店会議室  
出席者 3人  
司会 中林 晴  
幹事 藤井 幸一  
会報委員長 森 宏

真心の行動  
慈愛の奉仕  
平和に挺身

Act with Integrity  
Serve with Love  
Work for Peace

1995~1996年度国際ロータリー会長  
ハーバート・グラハム・ブラウン

第1296回例会 No.48  
第1297回例会 No.49 第2590地区ガバナー 鈴木清次

例会記録 \* 会長報告  
平成8年6月19日(Jun.19.1996)  
平成8年6月26日(Jun.26.1996)

\* 司会 森一誠SAA  
\* 開会 中林会長

1) 第5分区代理森善助会員に記念品の贈呈。  
2) 6月9日(日) インターアクト役員会に小林  
(新) 村松2名出席。  
3) 6月16日(日) ローターアクト地区協議会  
に中林、齊藤(清)2名出席。

期末懇親会 於:熱海 起點閣

"BUILD THE FUTURE WITH ACTION AND VISION"

1996~97

R.I会長  
ルイス・ビセンテ・ジアイ

築け未来を  
行動力と先見の眼で

**YOKOHAMA MIDORI ROTARY CLUB**  
WEEKLY REPORT

第1298回例会 No.1 青山

例会記録 \* 営業報告  
平成8年7月31日(水) 横浜銀行中山支店会議室  
出席者 3人  
司会 中林 晴  
幹事 藤井 幸一  
会報委員長 森 宏

真心の行動  
慈愛の奉仕  
平和に挺身

Act with Integrity  
Serve with Love  
Work for Peace

1995~1996年度国際ロータリー会長  
ハーバート・グラハム・ブラウン

第1345回例会 No.48  
第1346回例会 No.49 第2590地区ガバナー 青山彰義

例会記録  
平成9年6月18日(Jun.18.1997)  
平成9年6月25日(Jun.25.1997)

期末懇親会  
移動例会  
場所:熱海 石亭  
出席者:29名

周末ゴルフコンペ  
場所:箱根カントリークラブ  
出席者:16名  
優勝者:井上会員

"Show Rotary Cares"

1997~98

R.I会長  
グレン W・キンロス

ロータリーの心を



YOKOHAMA MIDORI ROTARY CLUB  
横浜緑ロータリークラブ

WEEKLY  
REPORT

ロータリーの心を  
Show Rotary Cares



会長 遠藤一典  
幹事 森 宏  
会報委員長 大地哲郎

例会記録  
平成10年6月17日(Jun.17.1998)  
平成10年6月24日(Jun.24.1998)

第1393回例会 No. 47  
第1394回例会 No. 48

第2590地区ガバナー 岡本徳彌

務めることが出来ました。有り難うございました。来期も宜しくお願ひいたします。

◆委員長その他報告

森一誠社会奉仕委員長、齊藤清紀親睦委員長より報告がありました。また、村上会員から本のご紹介がありました。

◆ニコニコBOX

須藤保夫君 パートナーに恵まれ、ゴルフコンペで優勝することが出来ました。ありがとうございました。

内野晃君 要の誕生日ありがとうございます。

遠藤一典君 1年間大過なく会長として任務を全うできましたことは、役員はじめ会員、事務局のご協力、ご支援の賜物と深く感謝申上げお礼といたします。

森宏君 全会員のご協力のお陰で盛りになりました。

大地哲郎君 皆様の御協力で無事1年間会報発行を行えました。ありがとうございました。

◆入会記念祝

小林照二君(6月28日)

◆御婦人誕生日

内野陽子君(6月30日)

◆幹事報告

1) 全会員のご協力により何とか幹事の大役を

"FOLLOW YOUR ROTARY DREAM"

1998~99

R.I会長  
ジェームス L. レイシー

ロータリーの夢を  
追い続けよう



YOKOHAMA MIDORI ROTARY CLUB  
横浜緑ロータリークラブ

WEEKLY  
REPORT

ロータリーの夢を  
追い続けよう



会長 関根一  
幹事 森 宏  
会報委員長 大須賀洋  
例会記録  
平成11年6月16日(Jun.16.1999)  
平成11年6月23日(Jun.23.1999)  
平成11年6月30日(Jun.30.1999)

第1440回例会 No. 46  
第1441回例会 No. 47  
第1442回例会 No. 48

第2590地区ガバナー 大須賀洋

例会記録  
平成11年6月16日(Jun.16.1999)  
平成11年6月23日(Jun.23.1999)  
平成11年6月30日(Jun.30.1999)

期末懇親会

6月16日、箱根湯本・西洞窟にて期末懇親会が開催されました。

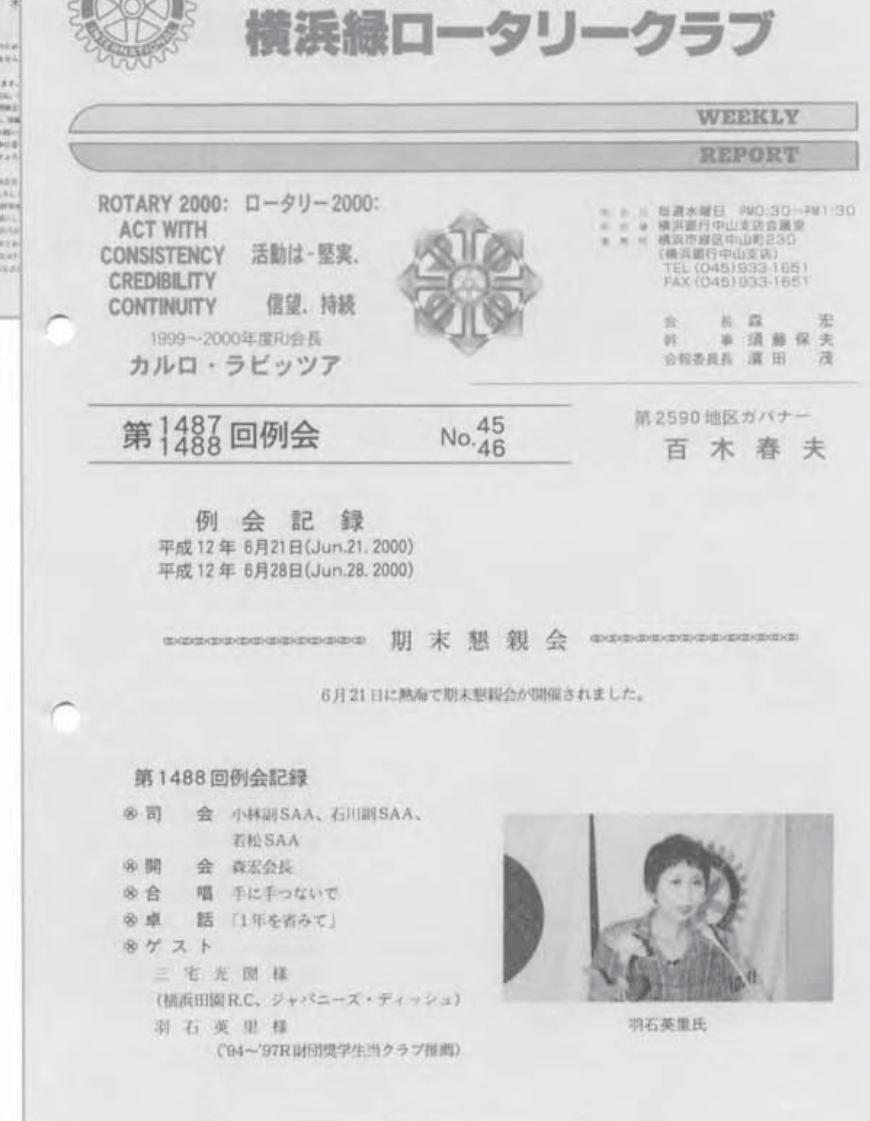
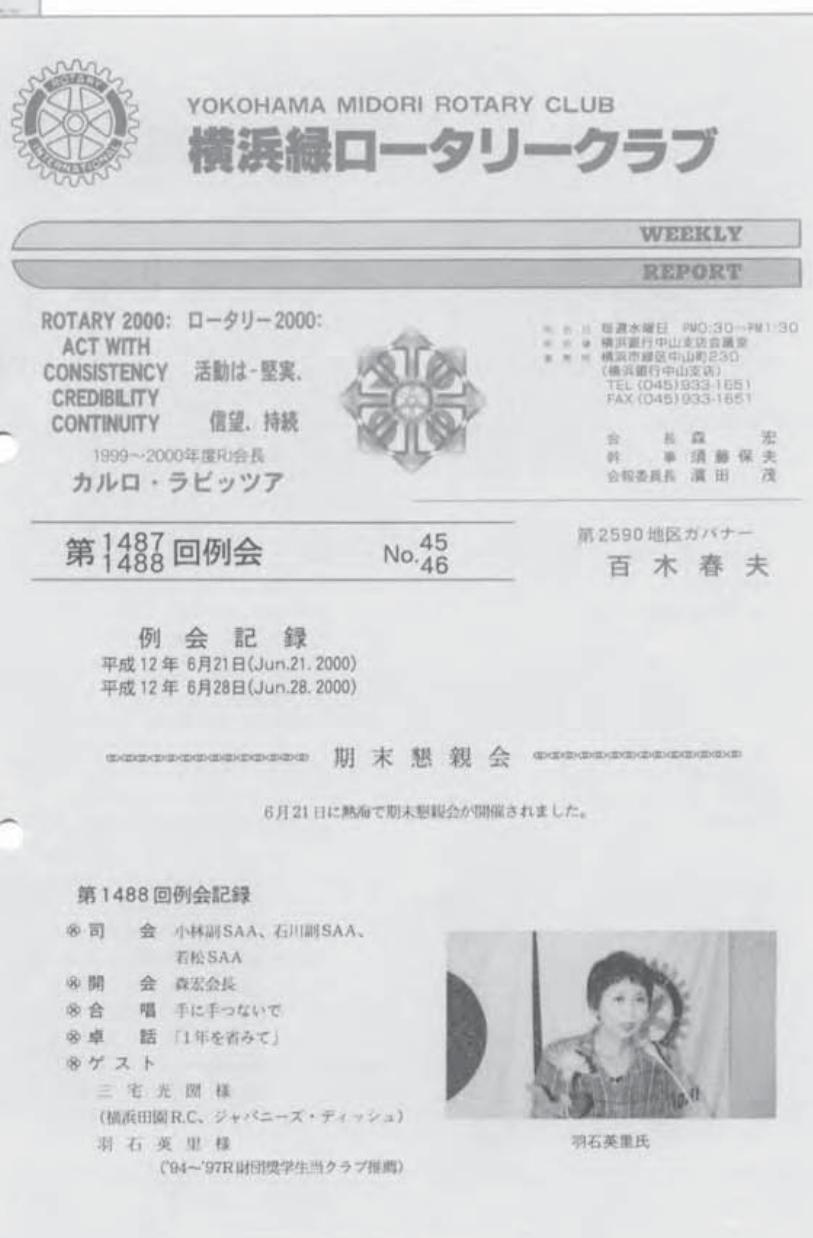


“ROTARY 2000:ACT WITH CONSISTENCY CREDIBILITY CONTINUITY”

1999~20

R.I会長  
カルロス・ラビツア

ロータリー2000:  
活動は-堅実、  
信望、持続



20年以降10年間の歴代会長と会長方針

年度	代	会長	会長方針
1990 ~ 1991	第21代	近藤 裕	明るい友垣、みんなで創造
1991 ~ 1992	第22代	幸内 信雄	活かそうロータリーのこころ
1992 ~ 1993	第23代	遠藤 真作	親睦と奉仕
1993 ~ 1994	第24代	横井 好明	信頼と友情を高めよう
1994 ~ 1995	第25代	渡辺 宏未	
1995 ~ 1996	第26代	中林 靖	
1996 ~ 1997	第27代	小林 新一	
1997 ~ 1998	第28代	遠藤 一典	
1998 ~ 1999	第29代	脇田 幸一	
1999 ~ 2000	第30代	森 宏	

20年以降10年間の年度別組織表

役名	年度	1990~1991	1991~1992	1992~1993	1993~1994
会長	近藤 裕	幸内伸雄	遠藤真作	横井好明	
副会長	幸内伸雄	代々木和男	横井好明	渡辺宏未	
幹事	渡辺宏未	横井好明	日高信良	遠藤一典	
会計	佐藤英治	長沼博	長沼博	長沼博	
S.A.A	折田啓一郎	日高信良	井上周輔	森實	
クラブ奉仕担当理事	幸内伸雄	代々木和男	渡辺宏未	小林新一	
社会奉仕委員長	斎藤宏一	渡辺宏未	島田幸夫	藪島五郎	
青少年奉仕委員長	横井好明	二宮浩	小林敬	田中克己	
職業奉仕委員長	二宮浩	森實	名倉健二	近藤襄	
国際奉仕委員長	小林新一	斎藤宏一	小杉隆	堀井基章	
出席委員長	島田幸夫	加藤喜夫	中林靖	伊藤通宏	
職業分類委員長	田沼文衛	小林敬	岡本健	中林靖	
親睦活動委員長	金子朝夫	高嶋経保	脇田幸一	松田税	
雑誌委員長	名倉健二	小林新一	遠藤一典	会田瞭三	
会報委員長	脇田幸一	井上周輔	飯田重雄	掘賀雄	
会員選考委員長	森善助	近藤襄	幸内伸雄	三澤君夫	
会員増強委員長	土志田猛	堀井基章	森善助	代々木和男	
プログラム委員長	日高信良	松田税	森實	脇田幸一	
R情報委員長	代々木和男	藪島五郎	近藤襄	森善助	
広報委員長	松田税	小杉隆	松尾一伸	斎藤宏一	
インターラクト委員長	遠藤一典	田中亮二	黒沼正雄	夏目一夫	
ローターアクト委員長	森實	遠藤一典	田中亮二	市瀬栄一	
世界社会奉仕委員長	高嶋経保	小俣良一	松田税	藤津均	
R財団委員長	赤柄忠昭	島田幸夫	田中克己	土志田猛	
米山奨学会委員長	近藤真作	田中克己	金子朝夫	内野晃	
ボリオプラス委員長	田中亮二				

20年以降10年間の年度別組織表

1994~1995	1995~1996	1996~1997	1997~1998	1998~1999	1999~2000
渡辺宏未	中林靖	小林新一	遠藤一典	脇田幸一	森宏
小林敬	小林新一	遠藤一典	井上周輔	高嶋経保	藤津均
井上周輔	脇田幸一	金子朝夫	森宏	市瀬栄一	須藤保夫
長沼博	須藤保夫	須藤保夫	須藤保夫	村松勇治	村松勇治
脇田幸一	森一誠	高橋忠男	村松勇治	須藤保夫	村上公夫
田中克己	井上周輔	遠藤一典	脇田幸一	高嶋経保	藤津均
松田税	齊藤清紀	長沼博	森一誠	大地哲郎	北原弘文
森實	遠藤一典	堀井基章	市瀬栄一	齊藤清紀	大地哲郎
金子朝夫	市瀬栄一	藤津均	加藤喜夫	森一誠	長沼博
田中亮二	村松勇治	森宏	藤津均	長沼博	市瀬栄一
斎藤宏一	長沼博	井上周輔	田中亮二	鶴岡武	河渕雄
山下栄藏	名倉健二	三澤君夫	中林靖	森善助	土志田猛
藤津均	田中亮二	森一誠	齊藤清紀	武藤泰典	鶴岡武
長沼博	小杉隆	斎藤宏一	高橋忠男	藤田孝次	高木美治
市瀬栄一	森宏	小林照二	大地哲郎	岩崎恒雄	濱田茂
中林靖	山下栄藏	名倉健二	代々木和男	代々木和男	山下栄藏
横井好明	岡本健	山下栄藏	三澤君夫	山下栄藏	森一誠
堀井基章	藤津均	加藤喜夫	武藤泰典	北原弘文	齊藤清紀
三澤君夫	代々木和男	森善助	山下栄藏	岡本健	内野晃
小林新一	土志田猛	大地哲郎	高嶋経保	石川輝久	井上周輔
加藤喜夫	高嶋経保	村松勇治	岩崎恒雄	河渕雄	長根信康
夏目一夫	斎藤宏一	齊藤清紀	鶴岡武	齊藤晃	武藤泰典
飯田重雄	内野晃	脇田幸一	土志田猛	森宏	代々木和男
内野晃	田中克己	岡本健	金子朝夫	藤津均	遠藤一典
代々木和男	近藤襄	土志田猛	岡本健	斎藤宏一	斎藤晃

年度別会員入退会状況

チャーター メンバー	年度 入退 会別					
		1990~1991	1991~1992	1992~1993	1993~1994	
入 会 者	会員登録	秋田 茂	佐川 孝信	藤津 均	齊藤 清紀	村松 勇治
		石川 治道	市瀬 栄一	伊藤 通宏	掘 賀雄	森 宏
		岩崎 董正	平野 六郎	会田 瞭三		森 一誠
		小林 安雄	松尾 一伸			須藤 保夫
		小峰 政博	夏目 一夫			岩田 輝正
		中山 恒三郎				
		柴田 清				
		鈴木 憲一				
		土志田 昭吉				
		岡本 健				
		志田 宝				
		高橋 正文				
		足立 英一				
		麻生 和衛				
		藤森 茂				
退 会 者	会員登録	浜田 淳太郎	佐藤 英治	平野 六郎	幸内 伸雄	伊藤 通宏
		細辻 文次	赤柄 忠昭	佐川 孝信	松尾 一伸	日高 信良
		岩本 正三	折田 啓一郎	上林 正勝	田沼 文衛	
		松田 三郎	好井 良雄	渡辺 清	遠藤 真作	
		三橋 英一	三浦 澄好	小俣 良一		
		名倉 健二		三橋 英一		
		富永 力		二宮 浩		
		鵜川 昇				
		吉田 晴太郎				

年度別会員入退会状況

1994~1995	1995~1996	1996~1997	1997~1998	1998~1999	1999~2000
辻 一昭	大地 哲郎	岩崎 恒雄	村上 公夫		正木 隆至
渡辺 隆市	興山 正三郎	鶴岡 武	石川 輝久		河原 裕典
小林 照二	北原 弘文	武藤 泰典	藤田 孝次		下中 英輝
	齋藤 晃	河渕 雄	長根 信康		若松 守正
	川井 省三		濱田 茂		
	東根 憲一		鍋谷 忠克		
	高橋 忠男		篠 明俊		
			柴崎 恒雄		
			高木 美治		
渡辺 宏未	松田 稔	藪島 五郎	高橋 忠夫	田中 亮二	篠 明俊
会田 瞭三	田中 克己	堀井 基章	小林 新一	斎藤 宏一	近藤 裕
島田 幸夫	辻 一昭	金子 朝夫	東根 憲一	黒沼 正雄	中林 靖
掘 賀雄	岩田 輝正		川合 省三	興山 正三郎	興山 正三郎
森 實	渡辺 隆市		関口 将実		三澤 君夫
小林 敬	小林 隆				高木 美治
夏目 一夫					村上 公夫
小林 安雄					柴崎 恒雄
飯田 重雄					鍋谷 忠克
					井上 周輔
				名誉会員 名倉 健二	

## ロータリー財団

(順不同)

### ◎マルチプル・ポールハリスフェロー (\$3,000以上)

現会員 退会会員 会員外

森 善助

### ◎マルチプル・ポールハリスフェロー (\$2,000以上)

現会員 退会会員 会員外

内野 晃	鶴川 昇	三澤 君夫	中林 靖
代々木和男	脇田 幸一	斎藤 宏一	
矢島 誠治			

### ◎ポールハリスフェロー (\$1,000以上)

現会員 退会会員 会員外

上志田 猛	山下 栄藏	赤柄 忠昭	古谷 英太郎	小林 はま子	森 玉江
武藤 泰典	名倉 健二	遠藤 真作	濱田 勝弥	鶴川 暢子	武藤 純子
高嶋 経保	岡本 健	日高 信良	石川 治道	武藤 勝典	武藤 義一
横井 好明	遠藤 一典	岩本 正三	岩岡 正	岩崎 誠三	
長沼 博	藤津 均	寺崎 誠三	加藤 勇夫		
市瀬 栄一	齊藤 清紀	小林 安男	幸内 伸雄		
加藤 喜夫	森 宏	黒澤 保	三橋 英一		
		長瀬 正作	松田 稲		
		島田 幸夫	金子 朝夫		
		堀井 基章	森 實		
		田中 克己	井上 周輔		
		小林 新一	小林 敬		
		田中 亮二	武藤 松一		
		中村 彰宏	中山恒三郎		
		城田 昭次	鈴木 憲一		
		高橋 正文	田沼 文衛		
		戸田 裕也	戸田 修力		
		和田 功	富永 力		
		七志田昭吉	渡辺 宏未		
		藪島 五郎	山口 吉蔵		

### ◎ベネファクター

現会員 退会会員 会員外

名倉 健二	森 善助	三澤 君夫	中林 靖
内野 晃	岡本 健	小林 新一	
山下 栄藏	遠藤 一典		
齊藤 晃	藤津 均		
脇田 幸一	矢島 誠治		

◇30周年記念30万円寄付

◇創立～2000年4月1日現在、ロータリー財団寄付合計 \$163,027.5

## 米山奨学会

(順不同)

### ◎米山功労者

森 善助	鶴川 昇	秋田 茂	岩岡 正
横井 好明	内野 晃	飯田 重雄	遠藤 真作
代々木和男	土志田 猛	幸内 伸雄	城田 昭次
高嶋 経保	矢島 誠治	田辺 政雄	富永 力
岡本 健	山下 栄藏	長瀬 正作	武藤 松一
脇田 幸一		小林 安男	金子 朝夫
		近藤 襄	三澤 君夫
		小林 敬	松田 稲
		中林 靖	

◇30周年記念30万円寄付

◇創立～2000年4月1日現在、米山普通寄付￥4,223,000 特別寄付￥21,086,000

## 会員紹介

- ①職業分類
- ②勤務先及び役職
- ③勤務先住所及電話番号
- ④生年月日
- ⑤自宅住所及電話番号

**土志田 猛**



- ①不動産業(シニア)
- ②(株)岩本不動産商会  
(代表取締役)
- ③横浜市緑区寺山町89  
TEL045-933-2411
- ④昭和8年11月24日
- ⑤横浜市緑区三保町1839  
TEL045-931-3366

**藤田 孝次**



- ①造園工事業
- ②(株)三橋緑化興業  
(会長)
- ③横浜市青葉区あざみ野  
1-4-3三橋ビル  
TEL045-902-7751
- ④昭和8年8月13日
- ⑤横浜市青葉区あざみ野2-34-1  
TEL045-902-5755

**遠藤 一典**



- ①ビル賃貸(シニア)
- ②桐蔭学園高等学校  
(嘱託)
- ③横浜市青葉区鉄町1614  
TEL045-971-1411
- ④昭和3年10月2日
- ⑤横浜市青葉区黒須田31-3  
TEL045-971-3066

**濱田 茂**



- ①ホテル
- ②(株)バストラール  
(専務取締役)
- ③横浜市緑区鴨居1-9-14  
TEL045-933-2551
- ④昭和39年7月11日
- ⑤横浜市緑区中山町901-1  
グランドメゾン305号  
TEL045-934-2700

**藤津 均**



- ①眼科医
- ②フジ眼科歯科クリニック  
(院長)
- ③横浜市緑区鴨居4-1-9  
TEL045-931-6644
- ④昭和22年10月20日
- ⑤横浜市青葉区鴨居4-49-2  
TEL045-935-7706

**市瀬 栄一**



- ①建築リフォーム
- ②(株)不二建  
(代表取締役)
- ③横浜市緑区長津田6-3-24  
TEL045-983-7141
- ④昭和17年4月3日
- ⑤横浜市青葉区千草台46-30  
TEL045-973-1453

**岩崎 恒雄**



- ①呉服店
- ②(株)岩崎呉服店  
(代表取締役)
- ③横浜市緑区長津田5-4-33  
TEL045-981-0012
- ④昭和19年9月1日
- ⑤横浜市緑区長津田5-4-33  
TEL045-981-0012

**河渕 雄**



- ①電子試験機
- ②新電子工業(株)  
(代表取締役社長)
- ③横浜市都筑区池辺町3327  
TEL045-931-5255
- ④昭和8年9月2日
- ⑤横浜市港北区鳥山町922-6  
TEL045-472-5364

**小林 照二**



- ①自動車整備
- ②(株)プラザーモータース  
(代表取締役)
- ③横浜市都筑区池辺町3328  
TEL045-931-4517
- ④昭和17年3月8日
- ⑤横浜市都筑区池辺町3143-16  
TEL045-941-4880

**石川 輝久**



- ①警備会社
- ②(株)ジェイ・アメニティサービス  
(顧問)
- ③東京都新宿区百人町2-10-9  
パールビル3階  
TEL03-3227-1333
- ④昭和25年1月9日
- ⑤横浜市緑区三保町2068-1  
タウンコート201  
TEL045-929-6677

**河原 裕典**



- ①貨物自動車輸送
- ②(株)横浜ドリームライン  
(代表取締役)
- ③横浜市青葉区田奈町4-8  
TEL045-982-9827
- ④昭和29年7月31日
- ⑤横浜市緑区長津田5-9-5  
TEL045-984-2595

**加藤 喜夫**



- ①歯科矯正
- ②「愛誠」歯科  
(院長)
- ③横浜市緑区中山町610-9  
TEL045-931-1670
- ④昭和20年7月26日
- ⑤横浜市緑区中山町610-9  
TEL045-933-3049

**森 善助**



- ①不動産賃貸(シニア)
- ②
- ③横浜市青葉区桜台33-3  
TEL045-981-4831
- ④大正7年10月25日
- ⑤横浜市青葉区桜台33-3  
TEL045-981-4831

**森 宏**

①鉄道建設(シニア)  
②森建設(株)  
(相談役)  
③東京都世田谷区用賀3-18-14  
TEL03-3707-3951  
④昭和4年12月7日  
⑤横浜市青葉区柿の木台12-34  
TEL045-973-2134

**正木 隆至**

①金融業  
②横浜銀行中山支店  
(支店長)  
③横浜市緑区中山町230-2  
TEL045-933-2341  
④昭和25年8月30日  
⑤横浜市鶴見区下末吉2-13-8  
TEL045-583-0342

**大地 哲郎**

①病院  
②横浜新緑総合病院  
(副理事長)  
③横浜市緑区十日市場町1726-7  
TEL045-984-2400  
④昭和16年11月14日  
⑤東京都町田市成瀬  
5092-3-1-310  
TEL042-721-4867

**下中 英輝**

①葬祭業  
②(株)薰  
(代表取締役)  
③横浜市都筑区北山田5-1-53  
TEL045-591-5170  
④昭和38年4月8日  
⑤横浜市港南区上永谷3-19-17  
TEL045-844-4000

**森 一誠**

①家具販売業  
②(有)宮地  
(代表取締役)  
③横浜市青葉区市ヶ尾町590  
TEL045-974-4882  
④昭和17年9月23日  
⑤横浜市青葉区市ヶ尾町590  
TEL045-971-4104

**長沼 博**

①税理士(シニア)  
②長沼博税理士事務所  
(代表者)  
③横浜市青葉区青葉台1-1-8  
TEL045-985-0871  
④昭和14年5月14日  
⑤横浜市青葉区みたけ台12-7  
TEL045-973-0421

**斎藤 晃**

①土地賃貸(シニア)  
②(株)八廣  
(代表取締役)  
③横浜市緑区中山町21  
TEL045-932-1881  
④大正15年10月11日  
⑤横浜市緑区中山町21  
TEL045-932-1881

**高嶋 経保**

①看板・広告(シニア)  
②横浜標識(株)  
(代表取締役)  
③横浜市都筑区池辺町3885  
TEL045-934-2421  
④昭和12年8月21日  
⑤横浜市都筑区富士見ヶ丘19-31  
TEL045-941-4455

**村松 勇治**

①電気設備工事  
②株式会社ジエス  
(代表取締役副社長)  
③横浜市緑区長津田町2966  
TEL045-983-8441  
④昭和22年6月11日  
⑤横浜市緑区長津田町4126  
TEL045-983-8608

**長根 信康**

①推進工事  
②(株)ナガネ  
(代表取締役)  
③横浜市緑区いぶき野8-27  
TEL045-982-7631  
④昭和38年9月23日  
⑤川崎市宮前区土橋1-3-8  
パーク・ハイム宮前平412  
TEL044-877-4588

**齊藤 清紀**

①宗教(仏教)  
②(宗)福聚院  
(副住職)  
③横浜市都筑区池辺町2296  
TEL045-941-1366  
④昭和27年5月28日  
⑤横浜市都筑区池辺町2296  
TEL045-941-1366

**鶴岡 武**

①製造業  
②アジア物性材料(株)  
(代表取締役社長)  
③横浜市緑区中山町1200  
TEL045-931-4841  
④昭和10年7月31日  
⑤相模原市横山4-21-11  
TEL042-754-5920

**武藤 泰典**

①送風機製造  
②(株)武藤電機  
(代表取締役)  
③横浜市緑区西八朔町751  
TEL045-932-2214  
④昭和25年5月7日  
⑤川崎市高津区下作延1923-7  
TEL044-844-5870

**岡本 健**

①銃器製造(シニア)  
②(株)ミロク精機製作所  
(代表取締役)  
③横浜市緑区上山町7  
TEL045-931-4541  
④大正13年3月4日  
⑤横浜市神奈川区片倉町757-68  
TEL045-481-3080

**須藤 保夫**

①不動産業  
②(有)須藤企画  
(代表取締役)  
③横浜市青葉区樫が丘26-32  
TEL045-985-1545  
④昭和23年10月11日  
⑤横浜市青葉区樫が丘26-32  
TEL045-981-4117

**内野 晃**

①外科医(シニア)  
②内野医院  
(院長)  
③横浜市青葉区市ヶ尾330  
TEL045-971-1048  
④大正15年3月21日  
⑤横浜市青葉区市ヶ尾330  
TEL045-971-1048

鵜川 昇



①高等学校(シニア)  
②学校法人桐蔭学園  
(理事長・学長・校長)  
③横浜市青葉区鉄町1614  
TEL045-971-1411  
④大正9年8月10日  
⑤横浜市青葉区鉄町1614  
TEL045-971-3388

横井 好明



①情報通信設備(シニア)  
②横井通信工業(株)  
(取締役社長)  
③横浜市青葉区さつきが丘6-16  
TEL045-971-2241  
④大正13年11月26日  
⑤横浜市青葉区さつきが丘6-16  
TEL045-971-2242

脇田 幸一



①専門病院(シニア)  
②脇田産婦人科医院  
(院長)  
③横浜市青葉区藤が丘2-6-1  
TEL045-973-7081  
④昭和12年6月19日  
⑤横浜市青葉区藤が丘2-6-1  
TEL045-973-0556



代々木和男

①建築材料販売(シニア)  
②(有)代々木商店  
(代表取締役)  
③横浜市青葉区市ヶ尾町325  
TEL045-971-3194  
④昭和7年6月11日  
⑤横浜市青葉区市ヶ尾町473-9  
TEL045-971-3258

矢島 誠治



①不動産賃貸(シニア)  
②矢島地所(株)  
(代表取締役)  
③横浜市緑区台村町350  
TEL045-931-1343  
④昭和3年9月7日  
⑤横浜市緑区三保町812  
TEL045-921-3249



若松 守正

①電信電話事業  
②NTT東日本(株)  
中山支店  
(支店長)  
③横浜市緑区中山町533-1  
TEL045-931-2000  
④昭和23年4月3日  
⑤横浜市港北区大豆戸町  
985-410  
TEL045-544-0232

山下 栄藏



①建設機械製造販売(シニア)  
②山下工業(株)  
(代表取締役社長)  
③横浜市緑区上山町91  
TEL045-933-0321(代)  
④大正15年10月30日  
⑤横浜市神奈川区白幡向町21-33  
TEL045-421-3263

名譽会員



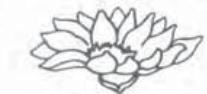
名倉 健二

①名譽会員  
②(株)東京リンク  
(相談役)  
③横浜市旭区上白根町  
長坂693-7  
TEL045-934-2666  
④大正9年5月20日  
⑤横浜市港北区大曾根台  
25-1  
TEL045-531-3816

## 横浜緑ロータリークラブ

## 物故会員

物故会員についてはそのご冥福を祈り  
創立20周年以降全員を掲載いたしました。



好井 良雄

平成3年3月17日 逝去



田沼 文衛

平成5年6月5日 逝去



三橋 英一

平成4年3月21日 逝去



遠藤 真作

平成5年6月12日 逝去



幸内 伸雄

平成4年10月2日 逝去



小林 敬

平成7年4月25日 逝去



松田 稔  
平成7年9月26日 逝去



中林 靖  
平成11年10月20日 逝去



小林 新一  
平成10年1月21日 逝去



興山 正三郎  
平成11年11月26日 逝去



近藤 裏  
平成11年10月9日 逝去



三澤 君夫  
平成11年12月18日 逝去

### 編集後記

30周年記念誌が、ここにようやく完成いたしました。入会してまだ3年に満たない私が編集担当者として任命された時は途方にくれましたが、今回の編集にあたり10周年・20周年の両記念誌を拝見し、その歴史の重さと責任の重大さに心持を新たに取り組み製作いたしました。

当クラブは1970年2月28日に創立されました。私はその1ヶ月後の4月に小学校に入学したのです。そう考えると30年の月日の重さは計り知れないものに感じました。その中で資料の整理調査等を行っていて痛感したのは、日頃の資料や記録の整理・保存の大切さでした。今後はコンピューターに保存するなど方法を考えなければならないと思います。

ともあれ、この記念誌は当クラブの20世紀最後を飾るもので、これから迎える21世紀につながるようにと考えています。

最後に発刊に関してご協力いただきました方々に心より感謝申し上げ、この記念誌をお届いたします。

2000年10月  
30周年記念誌編集委員会 長根 信康

